

代表者会議【資料2－4】

茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	令和6年度 第3回 茅ヶ崎市自立支援協議会 当事者部会（カラフル）			
日 時	令和6年12月21日（土）13時30分～15時30分			
場 所	茅ヶ崎市分庁舎5階 特別会議室			
出席者	<div>■ 部会長 臼井 幹夫</div> <div>■ 副部会長 鈴木 大雅</div> <div>■ 部会委員 湊 弘志</div> <div>□ 部会委員 青木 理香</div> <div>■ 部会委員 松本 敬太</div> <div>■ 部会委員 石井 直子</div> <div>■ 部会委員 飯田 裕子</div> <div>■ 部会委員 安藤 美紀子</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 課長補佐 前田 玲美</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 副主幹 大畑 純子</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 主査 池元 佑輔</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 主査 渡邊 桃子</div> <div>■ （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 主査 鈴木 敦之</div> <div>※ 傍聴者：2名</div>			
議 題	<div>1 前回の振り返り</div> <div>2 これまで作成した冊子の配布先について</div> <div>3 今後について（次年度以降）</div> <div>4 市役所職員向けの研修「当事者部会委員の声を聴きたい」について</div> <div>5 その他（情報提供など）</div> <div>6 次回の部会の日程について</div>			
<div>臼井会長より挨拶：アメリカやカナダで視覚障がい者に対するテクノロジーの進化によって、社会参加の機会が増えてきているといった話があった。当事者部会場で話されていることが、様々な障がい者の方々の社会参加につながる活動となっていると思う。</div> <div>【事務局より】</div> <div>傍聴者：豊嶋 太一 氏の紹介。豊嶋氏から挨拶。配布資料の確認。</div> <div>1 前回の振り返り</div> <div>事務局：これまで作成した冊子の配布先について様々なアイデアを出してもらった。本日配布した資料に前回話し合った内容をまとめた資料を配布している。</div> <div>2 これまで作成した冊子の配布先について</div> <div>事務局：配布した資料を基に説明。「外出編」と「お店編」は共通するところが多くまとめたものとした。</div> <div>みんなにやさしいお店は現在89店舗。「通院編」は、小中学校の総合学習や出前講座の教材やボランティア大学、病院の職員向け教材に使うなどアイデアが出た。「交通機関編」については市役所の情報公開コーナー、タクシー、バスなど乗車した人が見える場所、みどりの窓口、県の合同庁舎、盲導犬協会、介護施設、ケアマネジャーがいる施設といった意見が出ていた。</div> <div>臼井部会長：前回まとめた資料の説明を受け、過不足はないか？→ない。</div> <div>鈴木副部会長：お店編を商工会議所や商店会の組合にも配布した方が良いのではないかな？</div> <div>臼井会長：飲食店などで注文の形式がタッチパネルになってしまい利用できなくなってしまう店舗がある。</div> <div>飯田委員：タッチパネルは見えるところはあるが、暗いところでは見えない。使い方がよくわからない。サイズや文字も小さいためわかりづらい。視野が狭いため、ボタンを見つけられないこともある。文字だけでなく、色でわかるようにしても良いと思うことがある。「外出編」、「お店編」については、追加の意見はない。</div>				

代表者会議【資料２－４】

石井委員：「お店編」、「外出編」の配布先に公民館を追加した方が良い。商店会やイオンなどの大型店舗のサービスカウンターに置くと良い。

臼井部会長：イオンが実施している、幸せの黄色いレシートを回収しているボックスの横はどうか？

湊 委員：レジで支払いをするときに、話しかけられても、ほとんど聞こえないため毎回困ってしまう。普段使うコンビニや大型店舗には配架して欲しい。

安藤委員：飲食店にはおいて欲しい。みんなにやさしいお店にも配架して欲しい。銀行や郵便局の窓口にも置いて欲しい。

安藤委員：視覚障がい者に対し、身内が代筆することにとってもハードルがあった。

松本委員：理容室、美容室にあっても良いと思う。

臼井部会長：小中学校の総合学習に参加したことがあるか？

→飯田委員と石井委員が行ったことがある。湊委員は直接参加したことはないが、他の会員が参加したことがある。

飯田委員：通院先で精算支払いの機械化が進んでいるが、使い勝手がわからない。タッチパネルだと注文したい画面がわからず操作できない。

石井委員：冊子の中に、注文方法についてタッチパネル以外の選択肢を加えていく必要がある。

松本委員：川崎や東京などは配慮されることが多い。

臼井部会長：東京の病院は、あらかじめ自分の障がいのことを病院側に伝えておくと配慮してくれる。

石井委員：病院では最近、名前では呼ばなくなり、番号で呼ばれる。気づかないこともあるため、常に意識している。待ち時間に読めるように配架するのはどうか？

湊 委員：基本的に手話通訳を使用している。手話通訳がいないときは、筆談で対応してもらうが、筆談で細かいニュアンスが伝えられない。NET119を使用することもある。通訳者がいると気持ちが落ち着く。手話通訳者がいないと血圧が高くなってしまいうこともある。

安藤委員：外出するときは、盲導犬について対応できるか否かについて確認するようにしている。断られることもある。

臼井部会長：通院先で自分の障がいのことを知ってもらおうと通院していても配慮され通院しやすくなることもある。積極的に配架してもらいたい。

臼井部会長：「交通機関編」について議論。過去の経験で、タクシーの運転手さんによっては、視覚障がい者だと分かると偽物のお金を渡されたこともあった。また、料金を偽られることもあった。タクシー会社には配架しても良い。

鈴木副部会長：小学校や中学校向けの教材として利用して欲しい。

飯田委員：バスに乗っていると行き先がわからないことがある。バスの外にアナウンスが流れていると、聞こえないこともある。音声の出し方が大切。短い文章を判りやすい声でアナウンスして欲しい。車内アナウンスは基本一回。降りるときの直前で再度アナウンスされてもとっさに動けない。どの席に座っていても聞き取りやすい内容でアナウンスして欲しい。バスの運転手さんの社内研修に使って欲しい。

松本委員：バス会社によっては新紙幣対応していないこともある。

石井委員：バスはほとんど使用しない。タクシーはたまに利用する。タクシー運転手さんによっては乗降を急かす態度をする運転手さんもある。タクシーにも皆さんにみんなにやさしいお店ステッカーを張って欲しい。

湊 委員：バスは使わない。タクシーはアナウンスがないため判らないことがある。電車内のアナウンスも聞こえないためわからないことがある。

安藤委員：バスの列とタクシーの列があり区別がつかず、利用したい方の順番に並べないこともある。困ってうろうろしていても、声がかからない。

臼井部会長：交通編ではタクシーやバス、電車会社などに配架することは必要。

事務局：これまででた意見のまとめ。「お店編」や「外出編」では、大型スーパーや商店会、銀行や郵便局、飲食店など複数あがったが、すべてやろうとすると1年以上要してしまう可能性がある。少し絞っていきたい。商工会、大型店舗、商店会の組合に働きかけるところから始める。

「通院編」はどこに配架をお願いするか？→市内総合病院。

茅ヶ崎市立病院は職員向け研修があり、研修内容に盛り込む事は出来る。

鈴木副部会長：病院内のナースステーションなど配架しておくのはどうか？

代表者会議【資料２－４】

臼井部会長：病院は、医療職というよりも、事務系の職員さん向けの方が良いのではないかな？

事務局：「交通機関編」は、バス会社(神奈中バス)タクシー会社(神奈中タクシー)電車は(みどりの窓口)

石井委員：各種冊子が定着したところで、勉強会などに進展させていきたい。

3 今後について(次年度以降)

今後は、前段で出た配架先に配架できるように調整していく。部会委員の皆様にも協力を仰ぐ。

4 市役所職員向け研修「当事者部会委員の声を聴きたい」について

事務局：仕事上の困りごとや、配慮してもらえるとうれしいこと、市役所の手続きで困ったことなど意見を聴かせて欲しい。

鈴木副部会長：接客の仕事で、頭がうまく働かず、理解できない事、説明に戸惑うことがある。市役所窓口では説明を丁寧にしてもらえると助かる。

臼井部会長：鈴木副部会長は見た目では分からない障がいをお持ちなので、健常者と同じ扱いを受けることが多いのでは。ヘルプマークを付けるなどしないと分からない。

鈴木副部会長：そういうことはある。仕事では、理解に時間がかかることを理解してもらい、何度もゆっくり仕事の方法を説明してくれるなど配慮してくれていて助かっている。

飯田委員：マッサージ系の仕事に従事しているが、カーテンで仕切られていて、また、リラックス効果のため薄暗い照明を使用している。その他、パソコンの操作でマウスポインターが小さく見えなかったり、レイアウトがわからず困ったりしたことがある。時計も物によっては読めない、階段の縁に色がないと、平面に見えてしまうことがある。前に視覚障がいの人がいたが、辞めていつている。マニュアルがあると良い。配慮してくれたら嬉しいところも同じ。

市役所対応は、以前、福祉のあんないを渡された時、対象は何かと聞いたら人によって異なるのであんないをお読みくださいと言われた時、ショックだった。視覚障がいは読む事自体が大変。

マーカー(黄色より黄緑)してくれると助かる。また、代筆してくれるのも助かる。

松本委員：障がいを持っている人が多く働いているが、それにしてもクレームや問題が多く、困っている。自身も3年前にトラブルがあり、注意したら逆に怒られた。自分としては困っていることはない。市役所でも困ったことはない。親切に対応してもらっている。

石井委員：OC機器などに近い席になるよう配慮してもらってはいるが、職場が狭く、移動がしづらい。季節によっては書類が山積みになることもあり、気を付けようとしているが交わすときに滑ったり、転んでしまうことがある。市役所では、障がい福祉課は分庁舎2階にあることがとにかく困っている。トイレも洋式が1つ、狭いし、車いすの方は利用できない。また、歩きスマホしている職員もいるが、素早く避けることが出来ないの、ぶつかられたこともある。申請時の手順が複雑でメモを取るのに苦労した。手順書もらえるといいと思った。ホームページが分かりにくい。

湊委員：職場では朝ミーティングを行っているが、終了後にメモもらっている。助かっているが、申し訳ない気持ちになるので、ITを導入し、音声を文字起こし出来る機器を導入して欲しいと会社に依頼しているが、個人情報が含まれる情報もあるので、なかなかいい返事が出ない。ポケットというアプリが良いが、かなり近づけないと音声拾えないなど、足りない機能もある。聴覚障がいへの理解はしてもらっているが、やはり他の人に比べて情報の入手はいつも遅れてしまう。みんなと同じ速度であれば、もっと積極的に働けるのに、と思うことはある。市役所で困ったことはない。手話通訳者の設置の効果が非常に大きい。以前妻が手話通訳者を派遣してもらった時、2名の通訳者を希望したが、1名しか派遣してもらえなかった経験がある。今では2名派遣することが増えたが、通訳者は身体にも非常に負荷が大きく、2名体制が望ましいということも理解が深まるという。

安藤委員：民間から行政に仕事を変えた今は理解が厚い。職場では2年ほど前から予算を取って、自身をサポートするための会計年度職員を付けてもらっている。PCの容量が小さく、音声ソフトを導入しているが動きが悪くなる時がある。合理的配慮という考えが少しずつ浸透し、職員を支援する体制も厚くなってきたと思う。以前は音声ソフトや拡大ソフトも自費で準備していたが、会社が準備してくれることも増えている。市役所には今まで一人で来ることなく、あまり困ったことが無いが、今後一人で来ることも増えるので不安がある。どこに何があるか分からない。案内を依頼する場所はあるのか。

代表者会議【資料２－４】

前田課長補佐：本庁舎には総合案内があるが、分庁舎には玄関しかない。

臼井部会長：職場では年に一度管理職との面談があるが、上から業務上の指示が下りてくる職場ではなく、自らこれをやっていくという計画を出していた。市役所では、マイナンバーカードのパスワードを失念した際も丁寧に教えてもらったり、資料も代筆のうえ、糊付けして送るだけに整えてもらうなどしてくれた。困りごとはない。

５ その他(情報提供など)

事務局：代表者会議の日程が変更となり、予定してた石井委員の出席が叶わなくなった。出席可能な委員はいるか。(なし。)今回は出席無しとし、次回会議予定が定まったら、再度調整する。

石井委員：障がいのある人もない人も一緒に参加するワークショップ、具体的には盆踊りを計画している。季節のよい日中、座れる休憩スペースの設置、やぐらにあがるスロープの設置、踊らない人も参加できるスペース配置、などを考えている。参加したいと思うか、思わない場合は理由を教えて欲しい。心配事などもあれば聞きたい。

事務局：参加意思のある方はいるか。→鈴木副部会長(楽しそう)、松本委員(嫌な理由がない)、湊委員(特に断る要素がない)、安藤委員(みんなで参加できそう)。不参加、臼井部会長(坐骨神経痛が心配)、飯田委員(人が多いのが苦手。10人以上は視野が狭く、どこに何があるか分からないため気を遣ってしまう。また興味、必要がない。)

石井委員：一緒に身体を動かす、一緒に参加するというワークショップがしたいと思った。

事務局：こういうものなら参加したいという意見はあるか。

臼井部会長：フリスビーはどうか。日中など。子どもから大人まで参加可能。

鈴木副部会長：室内イベントなら季節天候関係なく参加できそう。少人数も良い。

事務局：トイレの設置も重要。

臼井委員：2027年度に横浜市で開催する「横浜国際園芸博覧会」で、各障がいに応じてどのような配慮が必要か、ヒアリングを行っている最中。そういうところに積極的に意見を出すことも大切。石井さんの企画もとても良い。うみかぜテラスはトイレもしっかり整備されており参加しやすい。

石井委員：まだ漠然としている。意見を出していただき、ありがとうございました。

６ 次回の部会の日程について

事務局：日程など希望あるか。

臼井部会長：働いている方が多くいるので土曜が良い。

配布資料

① 次第

② これまで作成した冊子の配布先について

③ 市役所の職員向け研修「当事者部会委員の声を聴きたい」について

次回開催予定
次回次年度開催。
開催日、会場未定
以上